

あなたも組合へ

ともに力をあわせて大学・高等教育の危機打開と
教育・研究環境、労働条件の改善を

私たちは次のことを要求しています

要求1

運営費交付金の3%削減
をせず、高等教育支出を
GDP比1%とし、教育・研
究条件を引き上げること

要求2

世界一高い学費を引き下
げて、学生の勉学条件を
良くすること

要求3

教職員の賃金・労働条件
を改善すること

広がる「国立大学守れ!」の声

全国知事会

「国立大学法人が安定的な運営の下で地域に
おいて果たしている役割を発揮できるよう十分
考慮することを強く求める」

和歌山県議会

「一面的な成果主義、競争原理を導入するの
でなく(中略)地方の国立大学が果たしている
機能や役割を十分評価し、大学の運営に必要な
交付金を配分されることを強く要望する」

国立大学協会

「運営費交付金の大幅かつ唐突な削減が行
われれば(中略)一部国立大学の経営が破綻」、
「運営費交付金の(略)確保・充実に求めます」

弘前大学長・岩手大学大学長・秋田大学長 連名の声明

「三大学は地域社会における国立大学の役割
を責任を持って果たしていくために(中略)運
営費交付金の大幅な削減に強く反対すると
ともに、その確保・充実に求めるものです」



組合加入申込書

年 月 日

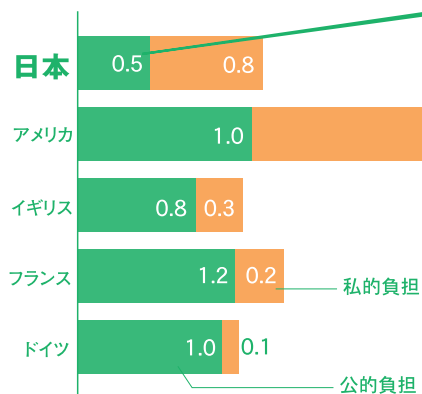
お名前	
職 場	
連絡先 (tel)	
e-mail	

力を合わせて
大学・高等教育を
守る(とき)



大学で 今何が起こっているか

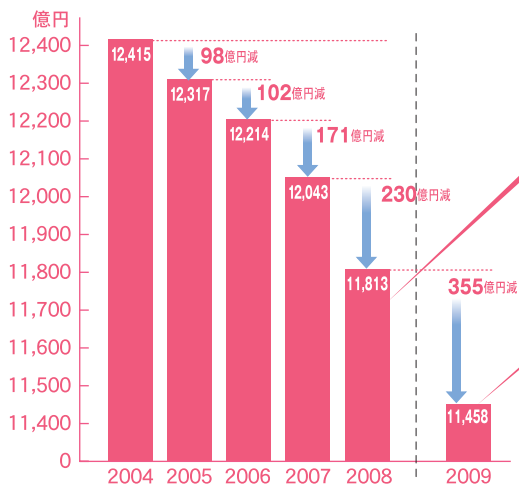
GDPに占める高等教育機関への公財政支出の比率



(出典) OECD『図表で見る教育』(2007年版)

OECD加盟
29カ国中
最低我が国の高等教育に対する
公財政支出は世界最低レベル先進主要国中最低
(およそ半分のレベル)

「国立大学運営費交付金」の推移

運営費交付金は、
これだけ減らされた。4年間で
計602億円減来年度3%削減
されると1年で
354億円も減

？ 運営費交付金とは

人件費、光熱水量費、事務
費等大学の日常運営に不
可欠な基盤的経費です。

教育研究の深刻な現状

自費負担をしている

公費が少なくなったため止むを得ず自費負担をしている。
(カラーコピー、学会参加旅費、授業用参考書籍、授業用標本、授業用ビデオ教材など)

研究ができなくなる

民間企業から液体ヘリウムを購入しているが、価格は、1,400円/リットルになる。我々は2名でグループを形成しているが、年間の液体ヘリウム代として、一人分の校費を超えており、このまま運営費交付金が減り続けると、数年で、研究はできなくなる。

ギリギリ切り詰めている

研究費は実質年間20万程度になった。何を諦めるか考えなくてはいけない。学会・研究会への参加、書籍の購入を切り詰めている、研究室にあるパソコンの買い替えもできない。



授業を閉鎖せざるを得ない

これまで開講していた授業を閉鎖せざるを得なくなり、入学前から学生および保護者が希望していた教育を提供することができない。学生側からの疑問や意見に関する対応で苦慮する。これは、ステークホルダーに対する多くの「約束違反」の一つである。

大学図書館が利用できない

大学図書館は長らくの要望にもかかわらず改修されることがなく、多くの書籍が書庫通路に平積みされている。このため学生は新設の自治体図書館を利用。

人件費削減で過重な労働

人件費削減に伴い、定年退職や転出等による人員の減少の補充が滞り、各教員の講義時間数が増加している。また、各種学内委員の仕事も増加し、講義の準備等の時間を圧迫し、過重な労働となっている。

研究経費がほとんどない

水道、ガス、電気など経常的な経費を支払うと研究経費がほとんどない講座がある。